

令和5年度 静岡市在宅医療・介護連携協議会
第2回エンディングノート作成部会会議録

- 1 日時 令和5年9月6日(木) 19時15分～20時30分
- 2 場所 静岡市役所 新館9階 特別会議室
- 3 出席者 (出席) 岡 部会長、近藤委員、坪井委員、中村(敬)委員、成島委員、平野委員
関係者：浅利委員、稲葉委員、間淵委員
(オンライン) 河西委員、中村(美)委員、金原委員
(欠席) 関係者：稲葉委員
(事務局) 地域包括ケア・誰もが活躍推進本部 酒井次長
在宅医療・介護連携推進係 森川次長補佐、北原主任保健師、白鳥主任主事
- 4 傍聴者 0人
- 5 次第 (1) 開会
(2) 挨拶
(3) 議事
①協議事項
(仮称)エンディングノート(案)の修正について
(4) 閉会

6 会議内容

- (1) 開会宣言及び会議成立の報告
- (2) 挨拶
- (3) 議事 (仮称)エンディングノート(案)の修正について

事務局

(協議事項) (仮称)エンディングノート(案)の修正について(資料1・2、参考資料1)の説明

金原委員

22番についてだが、1名の名前を書くとすると、配偶者の年齢などから、配偶者の名前を書くか、子どもの名前を書くか判断に迷う。

中村（敬）委員

1人ではなくて、複数の名前を書けるようにするとか、書き方の例示を書くなどするとわかりやすいのではないか。

岡 部会長

ここで決めずにディスカッションを継続し、あるいはいろいろなケースを見て、検討したい。この件は優先順位が高い部分として考えたい。

金原委員

最終記入日の欄は、更新の都度、消して書くということか。

事務局

例えばボールペンで記入する場合などを考え、最後に書いた日を書く際、ページを追加するというような仕様を考えている。必要な部分だけを印刷できるような仕様ということで、ホームページに載せることを考えている。

岡 部会長

これは次回、部会で相談しながらブラッシュアップしていく。主な形式としては、今回の事務局の案をベースにやっていきたい。

成島委員

一つ気になったのだが、「もしものときの医療の希望」とか「介護の希望」とかがあがるが、これはつまり、意思決定支援に関連したもの。そうであれば、自分史はその意思決定を裏付ける参考資料になるはずなので、近い方がいい。

河西委員

保険証の番号などは、その項目にコピーを貼り付けるなど、貼り付け欄を設けてはどうか。また、薬の欄については、併せてお薬手帳を用意しておくともよい、と書くともよいのではないか。

間淵委員

我々が一番医療として把握しておきたいことは、最初の栄養などの意思決定の部分。そこは入院前から、ワーカーがよくご家族と話し合いをしながら決めていく。だが、その後も変わることがあるので、できるだけ前の方や、わかりやすいところに載せて、入院後も、タイミングを見計らいながら変更していけるとよい。

浅利委員

レイアウトは、緊急で対応する場合と、何かあった後、落ち着いて見る場合とで分類を分けたい。また、この人を理解し、価値観や生き方、どういうものを望んでいるかを理解するのが、エンディングノートのテーマではないか。

7ページだが、まだ介護保険を使ってない方も利用すると考えると、ケアマネジャーとは何か、という場合もある。順番や場所、※印の利用なども大切。地域包括支援センターが担当している場合もあるという点からも、少し工夫が必要。

10ページのACPのところは、自分らしい最期の迎え方を考えるきっかけになるエンディングノートであれば、一番下の四角の中に「よく考えて記入しましょう」という言葉に付け加え「主治医と相談しながらお体のことを知って、主治医と相談しながら考えてみましょう」というような、医療のバックアップが必だということを補足説明するのがよい。

平野委員

そのとき使う場面と、我々がいざというときに使う必要度では、温度差がある。全部網羅しておくのはよいが、国が優先度を示しても、使う人によって優先度は違う。そのようなことを加味し、レイアウトを検討していく必要がある。

亡くなる前のサポートをする事業で、終活のことや死後のことについても、そこの仕組み作りを誰が指導して、誰が監督して評価してということ、また別の部会でやらなければならない。

成島委員

この内容としてはこれでよいと思う。例えばお薬手帳のコピーや保険証のコピーを貼れるようにするなど、臨機応変に自由に使えるようにちょっと余白を多くしたい。また、まだ先の話であるが、イラストのようなものを少し入れて雰囲気を柔らかくするのも大事ではないか。

いくつかのQ&Aである「就活ハローページ」とは、よく使われる語句か。

事務局

イメージとしてわかりやすいような形で用いた語句。

成島委員

終活で暗くさせないために軽くさせているという意図もあるだろう。別のいいアイデアがあれば、そういう語句もいい。

事務局

このノートの名称、全ての項目の名称についても、部会で検討していただきたい。

近藤委員

ケアマネジャーやかかりつけの先生の前に、家族や、連絡を取るべき人を書くところがあった方がよい。

坪井委員

もしものときの医療の希望は、もう少し前の方がよい。それから、経鼻経管栄養や、胃ろうという言葉は高齢者が1人で書くときにはわかりづらい。

19 ページ、20 ページのところの葬儀の希望とお墓の希望のところは2 ページで大きいのだが、やや大きすぎるのではないか。

中村（敬）委員

例えば 41 ページや 42 ページに問い合わせ先が載っているが、時間の経過で連絡先が変わる可能性は高いので、細かい情報はホームページを検索するよう促したほうがよい。

あとは、救急の場面でこういうものを確認しなければならないので、ページに何か見出しをつけるなど、工夫があるとよい。

岡 部会長

今後の会議の進め方に関して、事務局は、どういうスケジュールで考えているか。

事務局

小部会制にして、それぞれで同時進行的に完成させていくのがよいのではないか。そういった中で、各委員の見識を加味し、チーム分けをした。

医療介護のチームはリーダーを、平野委員、そして副リーダーを坪井委員、チーム員は、金原委員、成島委員、間淵委員。

日常生活の方のチームは河西委員がチームリーダー、近藤委員がサブリーダー、中村（敬）委員、中村（美）委員、浅利委員、稲葉委員、そして次回から、弁護士を呼んでみてはどうかと考えている。

こちらの会の進め方だが、例えば同じ日に、隣り合う机の島で議論してもよいし、隣り合った部屋があればそちらでやるでもいい。最初そうやってスタートし、最後の時間でお互いが議論したことを共有し合っ、到達地点を確認しながらやるのがよいのではないか。

成島委員

残り3回ではあるが、3回目の部会ではほとんどもうできていなければならない。実質猶予は2回。そこを有効に使うのなら、小部会にわかれるのは有効。また、メールである程度やれる部分に関しては議論しておくなど、対面でなくて済むものは先に進めたい。チームリーダーを中心に、たたき台をもとにメールで意見を交わした後に、実際合う場で議論すれば、残りの時間を効果的に使えるのではないか。

岡 部会長

今年中に静岡市のエンディングノートを作成していくことで進めていく。

(4) 閉会

■会議録確認署名

「令和5年度 静岡市在宅医療・介護連携協議会 第2回エンディングノート
作成部会 会議録」について、内容を確認しました。

静岡市在宅医療・介護連携協議会 エンディングノート作成部会 部会長

氏名(署名) 岡 真一郎